



令和8年

# 年頭あいさつ

新年明けまして  
おめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、町政の推進につきまして、温かいご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

昨年は、これまで町内社会福祉法人と一緒になって検討を進めてきた「特別養護老人ホームの統合」について、建設予定地の造成工事に着手しました。場所は、飯南病院に近い寺沢地区に整備することとし、本年8月末の造成工事完成に向けて取り組んでいます。

また、社会福祉法人により新たに建設される施設については、本年秋頃の着工予定ですが、将来に渡って持続可能な運営ができるよう、人員体制も含めた建設計画が進められ

ているところであります。

また、昨年12月22日には、滞在型地域交流拠点施設「三日市NODE」が、来島連坦地内に完成しました。

この施設は、飯南高校生が生命地域学など、町民の皆様と交流する中で学びを深めていくための施設であり、「高校生と住民との結び目となる存在」という、意味が込められています。

今後は、これまで以上に飯南高校の生徒募集にも力を入れ、住民と高校生との交流が促進されることにより、まちの活性化に繋がることに期待しています。

さて、昨年は長引く物価高騰の影響により、町民の皆様や事業者の皆様も大変ご苦勞されたものと感じ

ています。国においては、「強い経済」を実現する総合経済対策が予算

化され、地域の実情にあった生活者支援や事業者支援を行うこととされました。

本町においては、町民の皆様の生活支援として、いち早く支援を届けるため、電子地域通貨「いっちゃんPAY」を活用して1人あたり1万5千円分の「生活応援ポイント」を付与することとしました。

なお、本年1月より順次、Aコープの各店舗で「いっちゃんPAY」が使用できるようになる予定であり、食料品や日用品の購入においても、今後利便性が高まるものと考えています。

また、事業者の皆様への支援としましては、飯南町商工会にもご協力いただき、商工業者への応援金を支給するほか、医療・福祉・介護事業者へも同様の支援を行うこととして

います。

物価高騰に加え、最低賃金引き上げによる人件費の上昇など、厳しい状況は続いています。事業者の皆様と一緒に、本町の産業や医療福祉をしっかりと守っていきたいと考えています。

本年は、現在進めている教育環境基本計画や保育所のあり方、観光交流施設の検討など、今後のまちの方向性を決定する重要な課題にも取り組んでいかなければなりません。

また、少子高齢化が深刻化する中で、本町の基幹産業である農業振興にも力を入れ、新規就農者の育成や農業の担い手確保にも努めていきたいと考えています。

第3次総合振興計画に掲げる施策を着実に進めていくことで、町民の皆様がいつまでも健やかで、安心・安全に暮らせるまちとなるよう、全力で取り組んでまいります。

町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年は午年<sup>うま</sup>であります。皆様にとりまして、元気に駆け抜けることができる、素晴らしい一年となりますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

飯南町長  
塚原 隆昭

